



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル

Tel. (06)6244-1008 Fax. (06)6244-1010

<http://www4.ocn.ne.jp/~semba-rc/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06)6244-1111

会長: 清水清一 幹事: 塩尻明夫 会報広報委員長: 松永 修

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか . みんなに公平か

. 好意と友情を深めるか . みんなの為になるかどうか

第1132回 例会 2013年(平成25年)10月21日

(職業奉仕・米山月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 日比 敬史 副SAA)

- ロ - タリ - ソング 「我等が生業」
- 会長の時間 幹事報告 委員会報告 ニコニコ箱報告 出席報告
- 職業奉仕フォーラム 沖 真一郎 委員長 延長~14:00
- 職場見学 (株)サクラクレパス 東大阪工場

前回(10月7日)例会記録

プログレス 日比 敬史 副SAA

1. 来客紹介 北野 克己 親睦委員

ゲスト: 1名 地区外: 0 地区内: 4名 合計: 5名

ゲスト: 近畿大学薬学部 教授 村岡 修 様

・まっかな秋

・故郷の人々

・故郷を離るる歌

2. 10月お誕生月会員お祝い

杉浦 敬久 会員(10月16日)



3. 会長の時間 清水 清一 会長

今月は職業奉仕と米山奨学の月間です。今日はこの時間を職業奉仕について話そうと思います。

私は職業奉仕こそがロータリー活動そのものであるといっても過言ではないと思うからです。皆様も読まれている「ロータリーの目的」第二項の中にそのことがはっきり謳われております。

自らの職業を通じて社会のニーズを満たせる努力を重ね、自己の職業に品位と道德水準を高め、社会から尊重される存在にすることができ、自らを取り巻く人達の模範となり、道德的能力を向上させることに努めているのです。このような仕事の仕方をロータリーでは職業奉仕というわけです。そしてその行動の判断する基準がロータリアンの行動基準でもある「四つのテスト」であります。従って自らの立場で社会のニーズを満たしていくことを責務とし実行するのが職業奉仕の基本であると思っております。

この 21 日に職業奉仕委員会による職場見学が実施されます。サクラクレパスの東大阪工場の見学を予定しているとの事です。我々はこの見学を通じて職場の中にあつてどの様に奉仕の理念を実践されているかを勉強する良い機会だと思います。多くの会員の参加を望んでおります。

最後に、私の会社の企業信念の一部を紹介させて頂き終わりたいと思います。

経営理念は「私たちは仕事を通じて、社員一人ひとりが自ら創造していく企業を目指す。自他共に成長し物づくりと販売を通じて社会に貢献しよう」としております。又、経営信条は「自他共栄の精神」を挙げております。自分自身はもちろんの事、他人も共に栄えなければならない。働くことの喜びはそれぞれが栄えおのおのが繁栄していくことにある。

他人の犠牲の上にアグラをかけた繁栄ではなく、自分自身が日々努力し未来へ向かう姿勢でなければならないとしています。

4. 幹事報告 塩尻 明夫 幹事

10 月 21 日のサクラクレパス東大阪工場の見学に先立ち、沖さんと杉浦さんの 3 人でご訪問して参りました。

見学用に作られた工場ではなく、危険な場所や、企業秘密の場所があるそうですので、足元にご注意していただくことと、携帯などでの写真撮影は NG ということでのでお知らせいたします。

シンガポール RC の来阪の件ですが、11 月 2 日(土)18:30~ ですのでお間違えのない様にお願いいたします。

本日例会後に理事会がございます。関係会員の方はご参集をお願いいたします。

5. ニコニコ箱報告 松永 修 親睦委員

澤田 会員 村岡先生、本日の卓話お世話になります。宜しくお願い致します。

小島 会員 5 日坐摩神社で心齋橋だんさんこいさんコーラスの一員で歌ってきましたが、雨にならずラッキーでした。

杉浦、渡辺、大磯、今泉、大嶋、堀、宮原、松谷、沖、斧原、松永、俣野、清水、栗原、藤野、新川、日比、斎藤(満)、片岡、

各会員 男子体操 金メダル最年少 白井君おめでとう！

杉浦会員 10 月お誕生日

杉浦、小島 両会員 10 月会社創立記念日

宮原、堀、杉浦、清水、伊藤、北野、栗原、各会員 10 月結婚記念日

6. 出席報告 日比 敬史 副 S A A

会員総数 38 名 出席率計算会員数 38 名 出席員数 30 名 出席率 80%

第 1128 回(9 月 9 日) 修正出席率 95%

7. 卓 話 「健康長寿 ～元気に生きるために～」 近畿大学薬学部 教授 村岡 修 様
(澤田 宗久会員ご紹介)



新疆ウイグル自治区にあるホータンは、サハラ砂漠に次ぐ世界第2位の面積を誇るタクラマカン砂漠の西南部に位置するオアシス都市である。ウイグル語で“入れば二度と生きて戻れない”を意味する死の砂漠として恐れられてきたタクラマカン砂漠は、昼夜の寒暖の差が大きく年間降水量もごくわずかであり、年間を通じて強風にさらされる大変厳しい気候風土であるにもかかわらず、ホータン地区は世界有数の長寿地域として知られている。この地域では、カンカニクジュウヨウ(通称“カンカ”)を砂漠人参と呼んで不老長寿の源として常食してきたと伝えられており、今日のアンチエイジング素材として大変

興味深い薬用食品といえる。

一方、世界各地の乾燥地帯では深刻な砂漠化が進行し、ホータンも例外ではない。中国現地政府はカンカの宿主であるタマリスク(紅柳)が防砂に適した植物であることから、地域産業の育成と防砂の両観点からタマリスクの植樹を奨励している。

私たちは、新疆中薬民族薬研究所、中国ホータン地区政府、中国企業や大学と協力してホータンの長寿食カンカの機能や有用性に関する研究とともに、砂漠緑化と人工栽培による資源確保を目指した研究を行ってきた。

カンカは一般の植物とは異なり、柳の一種タマリスク(紅柳)の根に寄生して生育する。タクラマカン砂漠の自然条件では、地下 10 m 近くを流れる伏流水まで根を伸ばせるポプラやタマリスクなどが生育可能であり、カンカはタマリスクに寄生して水や栄養をもらい成長する。

中華人民共和国薬典には、カンカニクジュウヨウ(カンカ)とジュウヨウ(養命酒やゼナ、ユンケルなどの滋養強壮ドリンクに配合されている)の肉質茎を乾燥したものを漢薬ニクジュウヨウと規定している。中国伝承医学や日本の漢方医学における生薬の原典で、約 2 千年前に著された古代中国の薬物書「神農本草経」にニクジュウヨウが収載されている。「神農本草経」では、生薬を上、中、下薬(品)の 3 種類に分類しており、上薬(上品)は薬の王(君)に相当する最も重要な薬で、長期連用かつ多量摂取しても副作用がない不老延年の神仙薬と考えられてきた。ニクジュウヨウは、この上薬に収載され、薬効として「五労、七傷を主治し、中を補い...精気を益し、子多からしむ。婦人の腹中の硬結、腫瘍を治す」と記されている。その後の多くの本草書や医学書にも収載され、例えば「日華子本草」には、「男子の絶陽で興奮せぬもの、婦人の絶陰で妊娠せぬものを治す」などと記載されている。このように、ニクジュウヨウは中国伝統医学において強壮、補精薬としてインポテンツ、腰膝の冷痛、遺尿、婦人の不妊症、血崩、帯下、便秘などの治療に用いられてきた。

一方、中国の研究者によってカンカニクジュウヨウの抽出エキスには、男性ホルモン様作用、女性ホルモン様作用、免疫増強作用のあることや、主要成分に 抗老化作用、認知障害改善作用があったと報告されている。我々は、カンカの抽出エキスとその主要成分に血管弛緩作用や肝保護作用のあることを見出している。これらの知見は、カンカの強壮、解毒、冷え性改善、認知症予防効果などの伝承薬効や中国研究者の実験結果を支持するものとして内外で注目されている。

カンカニクジュウヨウの栽培と砂漠緑化

ホータン地区をはじめタクラマカン砂漠周辺の乾燥地帯では、砂漠化との戦いが有史以来続いてきたといっても過言ではない。今日も水路建設や防砂事業などにたえない努力が続けられている。その1つとして、ホータン地区民豊(ミンフオン)県ではタマリスクを用いた試みが行われている。タマリスクは新疆ウイグル自治区などの中国北部をはじめ、中央アジア、イラン、アフガニスタンの乾燥地帯に分布し、防砂及び固砂造林植物として農地や宅地の周辺に植えられている。乾燥と強いアルカリ土壌の土地に耐えられ、発芽力が強いので、民豊のような極度の乾燥地帯でも生育可能である。カンカニクジュウヨウは、タマリスクに寄生して開花、結実して増殖してゆくことから、カンカニクジュウヨウの生産にはタマリスクの植樹が前提と

なる。私の所属する近畿大学薬学総合研究所は、民豊県政府と、現地の砂漠緑化、現地特産品で滋養強壮などの効能が注目される植物“カンカ”に関する学術研究を共同で推進するとの学術協力協定を提携した。そして、ニヤ郊外に砂漠緑化基地を設置してタマリスクの砂漠への植樹事業と、カンカニクジュウヨウをはじめとする砂漠植物の機能の解明に関する研究を進めている。これらのカンカニクジュウヨウに関する取り組みは、現地の砂漠緑化と地域産業振興に貢献していると評価され、民豊県政府およびホータン地区科学技術局から感謝状が授与されている。

10月度 理事会報告

平成25年10月7日(月) 於:ホテル日航大阪 13:40～14:40

(議案)

1. 9月度会計報告(報告及び承認)

- ・会計理事欠席のため幹事より報告があり、承認された。

2. 退会会員について(報告)

- ・東田会員より体調不良のため退会の申出があった。

3. 大阪市立開平小学校会社訪問について(承認可決)

- ・実施日 平成25年12月11日(水)

- ・職業、青少年、社会奉仕3委員会の共同事業となっているが、学校側との連携をスムーズに行うため青少年奉仕委員会が中心となって事業を進める。
また、詳細、今後の展開については活動推進協議会で検討する。

4. 仙台西RCとの友好クラブ協定について(承認可決)

- ・友好クラブ協定に向けて仙台西RCと話を進める。

5. クラブ災害復興支援基金設立と地区東日本震災復興支援基金について(報告及び審議)

- ・地区ガバナーより迅速な災害復興支援に備えるためクラブ内に基金設立を推奨。
・地区東日本震災復興支援基金への拠出と基金を使った活動の募集。

6. シンガポールRCメンバー来阪に対する当クラブの接遇について(承認可決)

- ・11月2日、歓迎夕食会を開催する。

7. 職場見学について(報告及び承認可決)

- ・10月21日(月)、(株)サクラクレパス東大阪工場見学の詳細について

8. その他

次回10月28日(月)例会予定

- ・委員会卓話 「会員増強」「規定情報研修」
- ・指名委員会 6階「橋の間」13:40～